Victor　　先進の個性

TK-S340 ビデオカメラ　取扱説明書

—お買いあげいただきありがとうございます—

本機の機能をフルに生かすため、この"取扱説明書"をよくお読みいただきますようお願いいたします。

特長

- 高感度、低残像、低図形歪で電界、磁界、振動に強く幅広い分野での使用ができます。
- 商用AC100V駆動のため、新たに電源ユニットを用意する必要がありません。
- 同期方式は、スイッチ切換で内部/外部/電源(60Hz地域のみ)同期に対応できます。
- 電子シャッター1/100秒搭載で商用電源周波数50Hz地域での蛍光灯照明によるフリッカー現象(映像のチラツキ)を防止できます。
- 電子オートシャッター搭載で、手動絞りレンズ使用時にも、シャッタースピードの自動調整により、適切な露光が得られます。
- 逆光補正付で、逆光状態の映像の改善ができます。
- 調整容易なバックフォーカス調整機構を採用、設置性に優れています。
- レンズマウント切り換え機構により、CマウントレンズとCSマウントレンズの双方が使用可能です。

正しくお使いいただくためのご注意

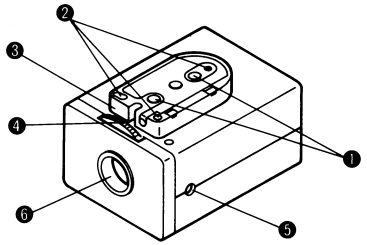
- 本機はAGC回路内蔵のため、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますがこれは故障ではありません。
- ズームレンズを使用される時、カメラ取り付け前に使用するズームレンズを付けて動作させ、バックフォーカスを確認して取り付けることをお勧めします。レンズのALC,LEVELなども同じです。(詳細はレンズの取扱説明書をご参照ください。)
- 高輝度の被写体(ランプなど)を撮影した時、画面上で高輝度の被写体の上下方向に白い尾引き(スミア)及び高輝度の被写体周辺のにじみ(ブルーミング)が現われます。(特にAESモード時)これは固体撮像素子特有の現象で故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時1/60秒に設定しています。商用電源周波数50Hz地域で、蛍光灯照明下では1/100秒に切り換えてご使用ください。(1/100秒のとき感度が少し下がります。)
- EEレンズ使用時は、電子オートシャッタースイッチ(AES)を"OFF"にしてご使用ください。"ON"にするとフリッカー(映像のチラツキ)が出る事があります。マニュアル・アイリスレンズ使用時に、"ON"でご使用ください。
- 本機は高温で使用した時、画面上に縦縞が発生することがありますが、これは固体撮像素子特有の現象で故障ではありません。
- この商品には保証書を別途添付してあります。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

各部の名称と働き

❶ カメラ取付用ネジ穴(1/4インチ)
本機をフィクサー、回転台などに取り付ける場合に使用します。
ネジ穴は前後に2ヶ所あり、状況に応じて使用してください。

❷ カメラ取付ブラケット固定ネジ(3本)
❸ カメラ取付ブラケット
出荷時、カメラ上面に取り付けられていますが、使用状況に応じて下面に取り付けられます。
下面のネジ穴に、固定ネジ❷3本で取り付け直します。

❹ バックフォーカス調整リング
バックフォーカスの調整と、レンズマウント方式の切り換えを行なうリングです。
操作時は固定ネジ❺を緩めて操作し、操作後は固定ネジ❺を締めて固定してください。



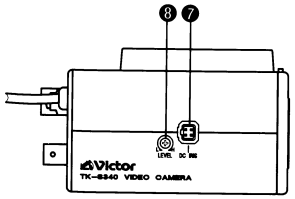
❺ (BF LOCK)バックフォーカス固定ネジ
バックフォーカス調整機構の固定ネジです。

❻ レンズマウント
レンズ取り付けマウントです。
Cマウントレンズ(1/3、1/2、2/3、1インチ用)又は、CSマウントレンズ(1/2、1/3インチ用)に適合します。

❼ (DC IRIS)DCアイリスコネクター
EEアンプを内蔵していない自動絞りレンズと接続します。
レンズ、ケーブルのプラグが異なる時は、付属のプラグ(4P)をお使いください。

❽ (LEVEL)感度調整ボリューム
DCアイリスコネクター❼を使用時に映像の明るさを調整します。

モニター画面	LEVELの操作方向
暗くする時	反時計方向(L側)
明るくする時	時計方向(H側)



❾ 電源コード
商用AC100Vのコンセントに接続します。

❿ (VIDEO IRIS)ビデオアイリス端子
EEアンプ内蔵型自動絞りレンズと接続します。

⓫ (POWER)電源表示ランプ
電源が供給されている時点灯します。

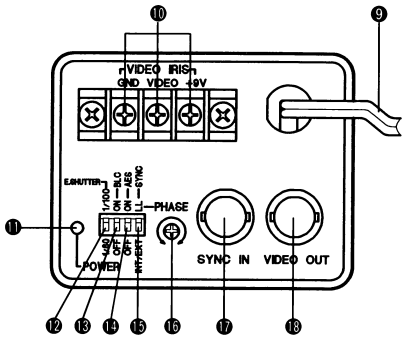
⓬ (E.SHUTTER)電子シャッター切換スイッチ
商用電源周波数50Hz地域は"1/100"側に60Hz地域では"1/60"側に設定することで蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減することができます。

⓭ (BLC)逆光補正スイッチ
逆光状態で不明瞭になった映像を改善するスイッチです。
被写体が逆光状態の時、スイッチを"ON"側にします。

⓮ (AES)電子オートシャッタースイッチ
マニュアル・アイリスレンズ使用時、このスイッチを"ON"にすると被写体の明るさに応じてシャッタースピードが変化し、映像の明るさが、自動調整されます。
絞りを固定する時、及びEEレンズを使用する時は、このスイッチを"OFF"にしてください。

ご注意
- ⓮のAESが"ON"時には、⓬のE.SHUTTERは機能しませんので、蛍光灯照明下で、フリッカー現象を生ずる事があります。
- AESの回路原理上、被写体の明るさによってハンチング(画面のバタツキ)を起こすことがありますが、故障ではありません。

⓯ (SYNC)同期モード選択スイッチ
INT/EXT：本機で発生する同期信号で動作させる場合又は、同期信号入力コネクター⓱に接続した機器からの同期信号(SYNC又はVS)により動作させるスイッチ位置です。
LL：電源周波数に同期して動作させる場合のスイッチ位置です。(電源周波数60Hz地域のみ動作可能です。)



⓰ (PHASE)電源同期位相調整
同期モード選択スイッチ⓯が"LL"時の位相調整に使用します。
本機と他のカメラ(又はシステム)の垂直位相が合うように、マルチチャンネルのオシロスコープを用いて、このボリュームを調整します。
(上記の方法で、位相が合わない場合は、AC100Vコンセントに接続されている本機の電源コード❾の極性を逆にしてから再度調整して下さい。)

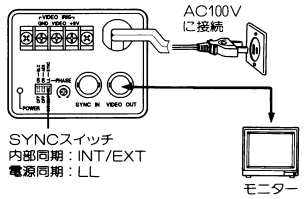
⓱ (SYNC IN)同期信号入力コネクター
外部同期信号の入力端子です。同期モード選択スイッチ⓯が"INT/EXT"の時、この端子に同期信号が入力されると自動的に外部からの同期信号に同期して動作します。
信号はSYNC(複合同期信号)又は、VS(同期付映像信号)を入力してください。

⓲ (VIDEO OUT)映像信号出力コネクター
カメラで撮像した映像信号を出力します。
ビデオモニター等を接続します。(75Ω)

接続方法

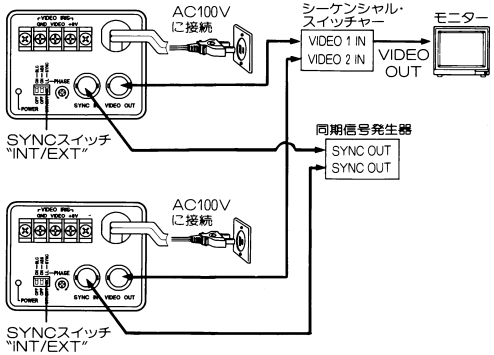
接続例

(1)内部同期又は電源同期モード時の接続例



電源同期時の注意
複数のカメラをスイッチャー等を用いて切り換えて監視する場合、切り換え時に同期が流れない極性となるようACソケットの差し込みを行ってください。

(2)外部同期モード時の接続例(2台接続)



レンズについて

レンズの取付方法

①レンズを取り付ける前に、使用レンズのマウント方式を確認します。出荷時、本機はCSマウントになっています(図1－1)。Cマウントレンズ使用時は、バックフォーカス固定ネジ(P1. ❺)をゆるめ、バックフォーカス調整リングを図1－1矢印の方向に回して、マウント方式を切り換えます。(図1－2が、Cマウントの状態を示しています。)

ご注意
- 一定範囲以上は、指で回せません。先端の細いもの(ドライバー等)を使用して下さい。(図1－3)
- 下図に示すレンズ取付部分の寸法Lは、表に示した値のものをご使用下さい。寸法Lが長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。特に、CSマウント時には、Cマウントレンズを取り付けないようご注意下さい。

最良結像点

レンズ

フランジバック

レンズ	フランジバック	寸法L
Cマウントレンズ	17.526mm	12mm以下
CSマウントレンズ	12.5mm	8.5mm以下

図1

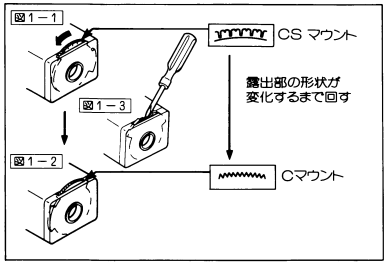


図2

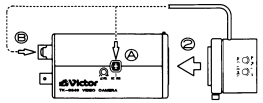


図2－1

コネクター ピン配置[DC IRIS]



1：制御⊖(Vref +1.8V)
2：制御⊕
3：制動⊕(+9V)
4：制動⊖(GND)

図2－2



②レンズを時計方向に回してカメラにしっかりと取りつけ、姿勢調整をします。

③自動絞りレンズの場合、レンズケーブルを接続します。

Ⓐ EEアンプを内蔵していないレンズを使用する時、側面のDC IRIS端子へ接続します。
レンズケーブルのプラグが異なる時は、付属の4Pプラグを使用して下さい。(図2－1)

Ⓑ EEアンプを内蔵しているレンズを使用する時、ケーブルを先バラにして、背面のVIDEO IRIS端子へ接続します。(図2－2)

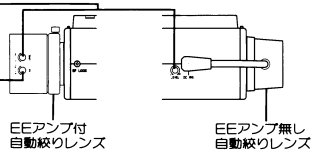
●「接続方法」に従って接続した後、カメラに電源を供給し、モニター上に出画させて映像を確認します。出荷時最も適応範囲の広い位置に調整されていますが、被写体の条件、組合せレンズの条件などにより再調整が必要な場合があります。映像が不自然な時、下図に従って調整してください。

●LEVELの調整

モニター画面	LEVELの操作方向
暗くする時	反時計方向(L側)
明るくする時	時計方向(H側)

●ALCの調整

モニター画面	ALCの操作方向
画面の一部分(高輝度部)が、バレーション気味の時	時計方向(Pk側)
画面の一部分(高輝度部)を除く他の部分がつぶれ気味の時	反時計方向(Av側)



ご注意 感度調整[LEVEL]をL側に回し過ぎると、カメラ側のAGCの働きで感度があがり、画面がザラついた感じとなります。

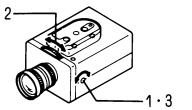
バックフォーカスの調整

工場出荷時、CSマウントで最も適応範囲の広い点に調整されていますが、Cマウントに変換した時及び組合せレンズによっては、再調整が必要です。必要な時は下記方法によりバックフォーカスを調整してください。

●固定焦点レンズの場合

レンズのフォーカスリングを調整してピントが取れない時、調整します。

1 バックフォーカス固定ネジをドライバーで反時計方向(↶)に回してゆるめます。
2 バックフォーカス調整リングを回し、フォーカスを最良にします。
3 バックフォーカス固定ネジを時計方向(↷)に回して固定します。



●ズームレンズの場合

ズーミング操作(広角～望遠)にした時、ピントがずれる時調整します。

① 3m位離れたできるだけ暗い被写体で細かい絵柄を撮像します。
② ズームを望遠にしてレンズのフォーカスを調整しピントを合わせます。
③ ズームを広角にしてバックフォーカスを調整しピントを合わせます。(固定焦点レンズの場合参照)
＊ ②,③を2～3回繰り返します。

EEケーブルの固定方法

EEケーブルが長く、じゃまな時は、下図を参照してカメラ取付ブラケットにケーブルを収納してください。

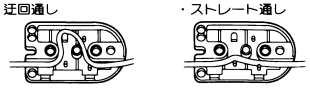
蓋の開閉方法

・開けかた ・閉じかた



アイリスコードの通しかた(例)

・迂回通し ・ストレート通し



添付のBNCコネクターと同軸ケーブルの接続方法

●3C-2V用

1. 12 / 12.5 あみ組線 付属チューブ
2. 6 ポリエチレン 芯線 あみ組線を逆にかりかえす。

●5C-2V用

1. 12 あみ組線
2. 6 ポリエチレン 芯線 あみ組線を逆にかりかえす。

この穴より芯線が中心コンタクトに曲らないように入る事を確認する。

3. 芯線締付用ネジ
このネジをゆるめて芯線を確実にさし込んだ後、強く締付ける。
4. 締付ナットにてネジ嵌合ストローク一杯まで締付けます。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

■保証期間について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■アフターサービスについてのお問い合わせ先

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店又は別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

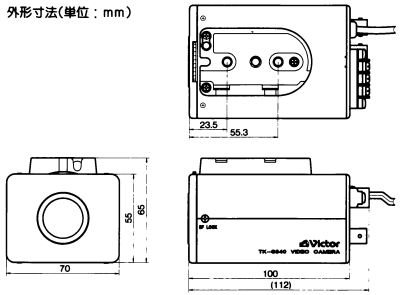
調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店又はビクターサービスにご相談ください。

- 機種名：**TK-S340**
- 故障の状態をできるだけ詳しく：
- ご購入年月日：
- ご住所、ご氏名、電話番号

定格

撮像素子：インターライン転送方式CCD
有効画素数：25万画素(512H×492V)
イメージサイズ：1/3インチ
同期方式：外部同期、内部同期、電源同期(60Hz地域のみ)
走査周波数：水平：15.73kHz　垂直：59.94Hz
解像度：水平：380TV本、垂直：350TV本
映像S/N比：50dB
最低照度：0.3Lx(F1.4)
電子シャッター：1/60秒(標準)、1/100秒(50Hzフリッカーレス)
レンズマウント：C/CSマウント
電源：AC100V 50/60Hz
消費電力：3W(AC100V、50/60Hz)
周囲温度：－10℃～+50℃(動作)、0℃～+40℃(推奨)
重量：660g
添付物、付属品：保証書×1
ビクターサービス窓口案内×1
4Pプラグ×1
BNCプラグ×1

外形寸法(単位：mm)



Victor JVC
日本ビクター株式会社

お客様ご相談センター
〒113 東京都文京区本郷3丁目14－7　ビクター本郷ビル　電話(03)5684－9311
〒543 大阪市天王寺区小橋町10－16　大阪ビクタービル　電話(06) 765－4161
カメラシステム事業部
〒192 東京都八王子市石川町2969－2　電話(0426)60－7245(ダイヤルイン)

SC96578-002